

校長研修だより203

キャリア教育と学力向上は対立しない

～今日は「高2はないちアクションデイ」～

2025・6・11 重枝 一郎

キャリア教育も〇〇教育もねらいは共有できる

「社会性の育成、学習に対する目的意識や学習意欲を向上させる」

キャリア教育の視点から教育活動を振り返るとは？

「4つの能力のフィルターを通して教育活動を捉える」

※基礎的・汎用的能力

- ・人間関係形成・社会形成能力
- ・自己理解・自己管理能力
- ・課題対応能力
- ・キャリアプランニング能力

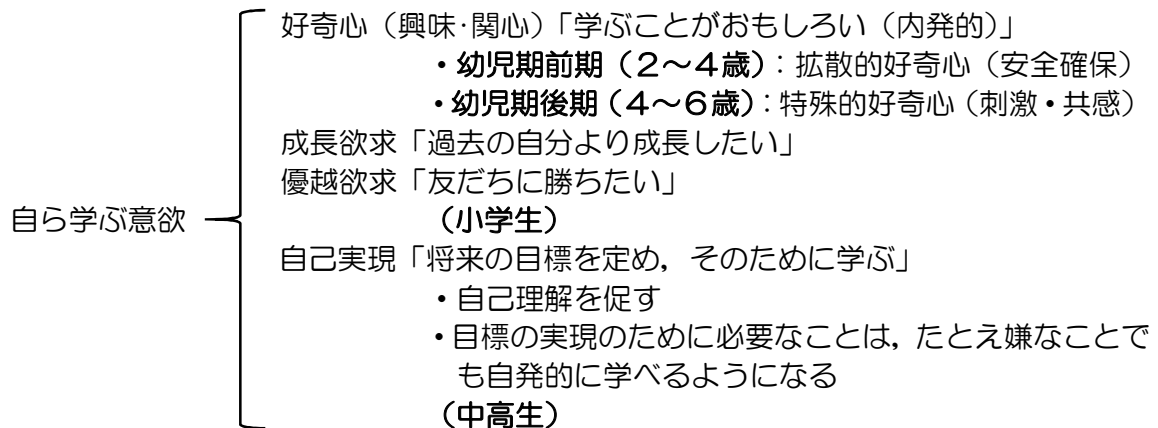
これまで提唱されてきた主要な能力論
「職業的発達にかかわる諸能力」「人間力」「就職基礎能力」「社会人基礎力」「学士力」など

よくある発言

- ①「キャリア教育より学力向上させることが重要ではないですか」
- ②「生徒指導が忙しくてキャリア教育を実施する余裕がありません」

①の疑問を「自ら学ぶ意欲」における発達段階から考える

（校長研修だより80号参照）



ちなみに幼児期の「好奇心」を充足させられていると、自ら学ぶ意欲の中核は形成されていることが多い。

「キャリア教育の充実と学力向上とは対立するものではない。学習意欲の低下は、学習習慣が確立しないことにつながる。つまり、上記に書いたように、学ぶ意欲の発達段階から考えると、キャリア教育を実践することにより、学習意欲を向上させることができれば、学力向上につながる」

②の疑問を「生徒指導」の実態から考える （校長研修だより160号参照）

「問題行動を起こした生徒が、よりよい行動を選択したり、自分の行動に責任をもったりするように指導することは、自己指導能力の育成をしているといえる。これは、キャリア教育における基礎的・汎用的能力の育成と同じである。つまり、日常の生徒指導の忙しさは、生徒指導をしながら、キャリア教育を充実させていると考えることが大切である」